

平成23年度 長崎市提案型協働事業 1次審査結果一覧

種別		市民提案型			
団体名	トムテのおもちゃ箱	ピースバトン・ナガサキ	ピアヘルパー研究会	n a a g l e	
事業名	地域のおもちゃ箱発掘事業	「ナガサキ平和検定」実施関連事業	精神障がい者に関する就労意欲の維持と自立の為の啓発事業	育成型イベントWEBコンテンツ制作による観光&まちづくりの情報発信・創造拠点「出島」形成事業	
事業費総額（円）	940,400	450,000	912,000	2,018,900	
審査項目	配点	各項目における平均点			
① 目的の明確性	5	4.5	4.2	3.8	2.8
② 課題の把握	5	4.3	3.8	4.0	2.7
③ 協働の必要性	10	7.3	6.7	7.7	5.0
④ 協働による相乗効果	10	7.3	6.3	7.0	4.3
⑤ 協働の役割分担	5	3.7	3.2	3.2	2.3
⑥ 事業の企画力及び広域性、他地域への波及効果	10	8.0	7.3	5.0	4.7
⑦ 事業の実施能力	15	12.5	11.5	8.0	9.0
⑧ 事業の計画性	15	12.0	10.0	8.0	9.0
⑨ 事業の継続性、発展性	15	12.5	9.5	7.5	7.5
⑩ 事業への熱意	10	8.7	7.7	8.7	4.7
合計点（点）	100	80.8	70.2	62.9	52.0
得点率（％）	100	80.8	70.2	62.9	52.0
審査結果	採択	採択	不採択	不採択	
審査会コメント	<p>事業についてよく計画されており、内容も市の方針と合っている。協働による相乗効果も高いと思われる。</p> <p>ただし、2次審査に臨むにあたり、次の点を要望したい。</p> <p>①おもちゃひろば、各講座について担当課と十分協議し、具体的に内容を提示すること</p> <p>②この事業によって育った人材を市の子育て施策にどのように関連させ、どのように生かしていくのか担当課と十分協議し、提示すること</p>	<p>平和学習の新たな取り組みとして、「検定」という切り口は子どもたちが取り組みやすく、平和学習の入り口となりうる事業であり、有益なものと思われる。</p> <p>しかし、検定の将来のビジョンや、事業に対する行政の関わりが不明確であるため、担当課と十分協議し、2次審査で明確に提示してほしい。</p> <p>また、検定の内容については、行政と協働する以上は公平性や客観性が必要となるので、団体がただやりたい内容をするのではなく、担当課と十分に協議して進める必要がある。</p>	<p>事業の必要性、事業に対する熱意は十分に感じる事ができた。また、当事者が自分たちの言葉で自分たちの自立を促進するという事に対しても、十分理解し共感する。しかし、これまで団体が事業を実施したことがないため、やはり事業実施能力に不安が残る。</p> <p>まずは補助金等を受けるなどして、自分たちの力でできる範囲の規模の講演会等を実施し、実績を残したうえで、次のステップとして協働による事業に取り組むことを望む。</p>	<p>事業の目的・手法・成果が不明確で、協働の意義についても見いだせなかった。</p> <p>再度、協働事業として提案するのであれば、それらを明確化したうえで提案してほしい。</p> <p>また、団体として中間支援組織を目指すのであれば、規約を見直すなど組織の再構築や、協働の本来の意味についての見識を深めていただきたい。</p>	